

デジタルアーカイブと併用する 学び手志向の平和学習教材の制作

首都大学東京大学院システムデザイン研究科

修士1年 秦 那実



背景

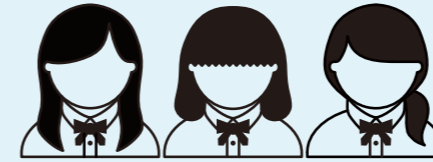
目的

制作手法

これまでの成果

まとめ

wtnv.studio
network media art
ネットワークデザイン
スタジオ



広島女学院高校有志

制作・被爆証言ビデオの掲載

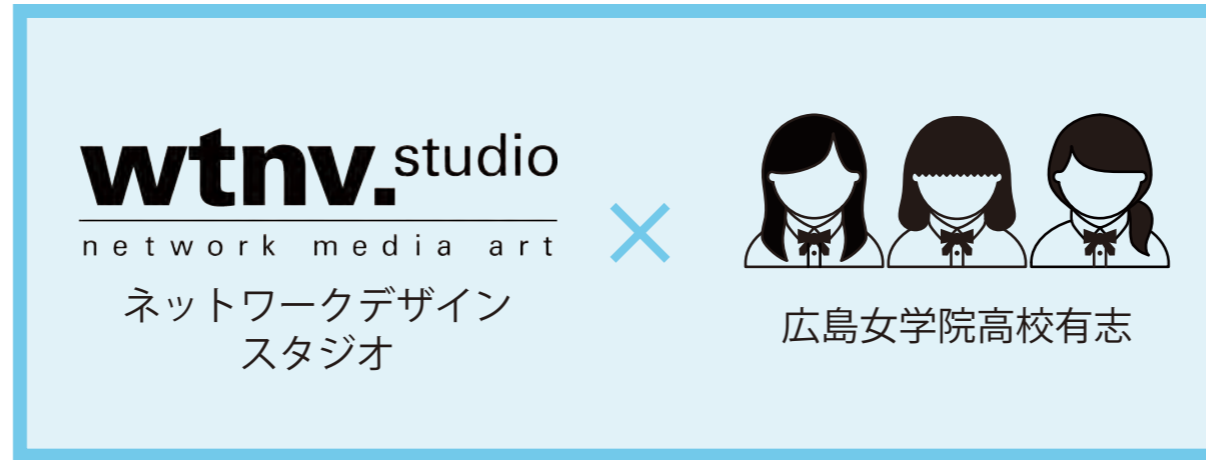


**Hiroshima
Archive**
ヒロシマアーカイブ



修学旅行生に向けた
利活用方法の提案





背景

目的

制作手法

これまでの成果

まとめ

将来的な目標

- ・ 平和学習・修学旅行をきっかけにヒロシマについて深く知ってもらいたい
- ・ 興味を持ちにくい平和学習だからこそ、自らすすんで手に取るものになって欲しい

将来的な目標

- ・ 平和学習・修学旅行をきっかけにヒロシマについて深く知ってもらいたい
- ・ 興味を持ちにくい平和学習だからこそ、自らすすんで手に取るものになって欲しい



**デジタルアーカイブとの併用を想定した
学び手にとって親しみやすい平和学習教材の制作**

将来的な目標

- ・ 平和学習・修学旅行をきっかけにヒロシマについて深く知ってもらいたい
- ・ 興味を持ちにくい平和学習だからこそ、自らすすんで手に取るものになって欲しい



デジタルアーカイブとの併用を想定した 学び手にとって親しみやすい平和学習教材の制作

- ・ 地元の高校生
- ・ 修学旅行生

- ・ 興味をもたせる
- ・ 敷居を低くする

背景

目的

制作手法

これまでの成果

まとめ

スタンフォード大学 ハッソ・プラットナー・デザイン研究所 『デザイン思考5つのステップ』 (2012)

① 共感 → ② 問題定義 → ③ 創造 → ④ プロトタイプ作成 → ⑤ テスト

スタンフォード大学 ハッソ・プラットナー・デザイン研究所 『デザイン思考5つのステップ』 (2012)

① 共感 → ② 問題定義 → ③ 創造 → ④ プロトタイプ作成 → ⑤ テスト



考えの整理

- ① 共感
- ② 問題定義
- ③ 創造

アウトプットへの反映・制作

④ プロトタイプ作成

実践・検証

⑤ テスト

リーンスタートアップ手法



考えの整理

① 共感

ユーザの観察と
インタビュー



② 問題定義

共感した結果を踏まえ、
課題を見つける

③ 創造

課題解決のための
新しいアイデアを生み出す

アウトプットへの反映・制作



④ プロトタイプ作成

新しいアイデアをもとに
再度ワークブックを制作

実践・検証



⑤ テスト

ユーザによる実践と、
作り手による検証の2視点
から考察



背景

目的

制作手法

これまでの成果

まとめ



シックスハット法を用いたワークショップ（2017年11月4日実施）



関西創価高校2年生によるフィールドワーク
（2017年8月5日実施）

ユーザの視点での検証



広島女学院高校有志（作り手）フィールドワーク
（2017年6月24日実施）

作り手の視点での検証

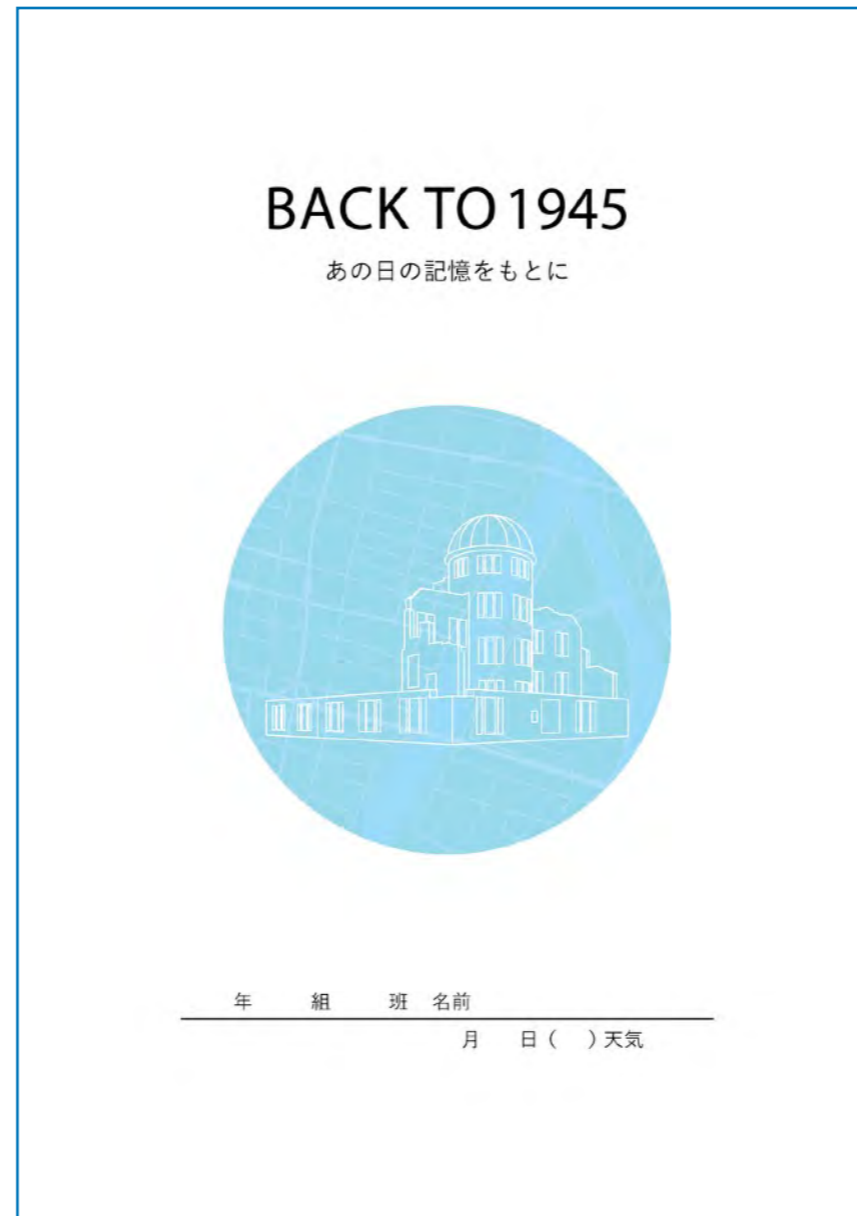
背景

目的

制作手法

これまでの成果

まとめ



BACK TO 1945 あの日の記憶をもとに
(B5サイズ / 20ページ)

BACK TO 1945 あの日の記憶をもとに チャプター構成



Chapter 1

広島を知ろう

〈事前学習〉

- 広島のカルチャーや被爆に関するクイズ, コラム
- ヒロシマ・アーカイブの使い方
- 『あなたが考える平和①』



Chapter 2

充実した旅にしよう

〈フィールドワーク〉

- 証言ビデオの視聴
- フィールドワークのテーマ選択
- ルート決め
- チェックポイントでの感想, 気づき



Chapter 3

旅のまとめをしよう

〈振り返り〉

- フィールドワークを終えた感想, 気づき
- 『あなたが考える平和②』
- 平和のために明日からできること

目的

学び手にとって親しみやすい平和学習教材の制作

手法

- ・ 高校生からボトムアップでアイデアを集める
- ・ 掲載内容や色使い等を配慮したデザインを施し、プロトタイプを繰り返し作成

検証

広島を訪れる修学旅行生に教材を使用してもらいアンケートを実施し、使いやすく理解しやすいという意見が得られる（と予想）

結論

提案する手法により、学び手にとって親しみやすい平和学習教材を制作することができる（と予想）